



日本聖公会  
大阪教区総務局  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8  
TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097  
発行責任者  
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 [office.osaka@nsk.org](mailto:office.osaka@nsk.org)

第464号 2018年12月23日発行

す。クリスマスには「メリークリスマス」、「クリスマス、おめでとございます」と挨拶をします。なぜ、クリスマスに「おめでと」と言うのでしょうか。それはイエス・キリストのお誕生をお祝いのからです。イエス・キリストは、神さまからの私たちにプレゼントです。どういうプレゼントかという、ヨハ

神の憐れみ深いみ心によって あげぼの光がわたしたちに臨み  
暗闇と死の陰にいる人を照らし わたしたちの足を平和の道に導く  
(祈祷書 24頁 朝の礼拝 ザカリヤの賛歌より)  
主イエス・キリストのご降誕を心よりお祝い申し上げます



主教 アンデレ 磯 晴久

トでした。  
先日、私は日本と韓国の聖公会の共同会議があつて、釜山に行きました。そこで1日現場研修があり、釜山から車で2時間半ほどのハプチョン(陝川)という町に行きました。ハプチョンにある原爆被害者福祉会館を訪問し、在韓被爆者の方々と支援活動を行っている方々にお会いする

ネによる福音書第3章16節に「神は、その独り子をお与えになつたほどに、世を愛された。」とありますが、その生涯を通して、私たちに「愛されていふことと愛すること」の大切さを教えるためのプレゼントでした。そして、上記の「ザカリヤの賛歌」にありますように、この世界の暗闇に光を届けるためのプレゼン

その後、被爆者の命がけの闘いと、いろいろな人々の働きかけによって、やっと1990年、日韓政府が重い腰をあげ、在韓原爆被害者支援の福祉事業が始まり、暗闇に光が差し始めました。1996年、この福祉会館が開館します。現在97人の入居者がおられ、平均年齢は82歳。治療とリハビリと共に、老人ホーム

のが目的でした。広島と長崎でおよそ7万人の朝鮮・韓国の方が被爆し、およそ4万人が亡くなったと言われていました。広島には、無理やり連れて来られた方や、貧しさのゆえに日本に行かざるを得なかったハプチョン出身者が多くいました。広島には軍需工場が沢山あったためです。老若男女が被爆し、戦後故郷へ戻

この世界には、いたるところに闇が存在しています。私たちの使命には、世界の暗闇に関心を寄せ、光をもたらすことがあるのではないのでしょうか。  
クリスマス前の約1か月間をアドベントと申します。このアドベントという言葉ですが、元々はラテン語のアドベントゥス (adventus) からきたもので、やって来ること、到

としての役割を果たしてあります。園庭には亡くなった方々の慰霊碑もあります。しかし、まだ在韓被爆者の全貌はわかっておらず、一人一人に十分な支援は届いていません。社会の片隅で苦しんでいる人々が、まだおられます。さらに被爆2・3世の問題もあります。病気や体調不良で苦しんでいる人がいますが、公の支援はない状態です。こうした皆さんに光を届けること、日本聖公会でも毎年広島長崎で原爆記念平和礼拝が行われていますが、私は在韓被爆者のことも憶えないといけないという思いをもって帰ってきました。

(次頁4段目につづく)

第121(定期) 教区会 開会演説 (要旨)

み心を土台に、宣教・伝道・牧会の新体制を

主教 アンデレ 磯 晴久

日本聖公会大阪教区第121(定期) 教区会開催にあたり、皆様がこのようにご参集下さいましたことに、感謝を申し上げます。

さて、私たちは、神様の「み心」を求めて、イエス・キリストと共に、神の国を目指して旅する信仰者・求道者の群れ・共同体であります。神様の「み心」とは何でしょうか。皆様はどう考え、受けとめておられますか。聖霊降臨後第24主日の福音書で、私たちは「み心」を聴きました。「あらゆる掟のうちで、それが第一でしょうか」という問いに、イエスは「第一の掟はこれである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟はこれである。『隣人を

自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」と答えられました。

この「み心」を土台として、私たちは宣教・伝道について考えていかなければなりません。私たち聖公会には宣教の5指標が与えられています。私なりに言い換えてみると、(1)イエス・キリストをこの世界に紹介すること (2)新しく同じ釜の飯を食うことになつた仲間と一緒に、信仰の学びをすること (3)人々の必要に応答するため、奉仕する心を大切にしながら生きること (4)社会の不正義に気がついたら、そこに平和と和解を創り出すために生きること (5)いのちを守ること、となりません。この他に忘れてはならないことは (6)礼拝すること (7)近隣教会との協働、そしてこれらのことから与えられる (8)喜びと希望をもつてと

いうことです。教区や教会で様々な取り組みは、今申し上げた8つのどれかひとつなっています。これらを参考に、皆様の教会を点検してみてください。

〈人事〉

ペテロ竹林徑一司祭は、来年3月末をもって定年退職されます。これまでの働きに感謝すると共に、今後もシニアパートナーとしてお助けくださいますように。現在、高槻聖マリヤ教会でご奉仕くださっている韓相敦司祭に続く新たな宣教協働者として、大韓聖公会ソウル教区より柳時京司祭をお迎えしました。7月より川口基督教会を中心に働きを始めて頂いています。韓国出身の2人に加え、カナダ出身のウイルソンウォーレン司祭、スコットランド出身のヒュームユーワン聖職

(前頁よりつづく)

来の意味を表わす言葉です。もう一つアドベントと同じ語源をもつ単語があります。アドベンチャー (adventure) です。冒険、胸が躍るような体験のことです。アドベントは、神の子が地上に、暗闇に光をもたらすために、私たちがとるべき道にやってくるために、それは前途多難な社会、状況に向かつていく冒険・アドベンチャーの旅と言っても良いかもしれません。単に静

かに待っていれば良いということではなくて、受身的ではなくて、私たちがこの世の闇に気づいたときに、イエスと共に暗闇に光をもたらすために、冒険の旅に出る、そのような事態をアドベントという言葉は内包しているのだと思います。「暗闇に光とどけ」、そうした思いをもってクリスマスを過ごせたらと願っております。

主教)

候補生と、多文化共生社会に対応できる国際色豊かな大阪教区になりつつあります。

3月22日に逝去されたヨハン山根貞夫司祭の魂の平安をお祈りするとともに、永年のお働きに心から感謝申し上げます。また現在ご奉仕頂いています囑託司祭・シニアパートナーズの皆様にも心より感謝を申し上げます。ヒュームユーワン聖職候補生は、今年4月より恵我之荘聖マタイ教会、堺聖テモテ教会、プール学院短期大学で働きを始め

した。新たな神学生が与えられますように、また女性聖職が与えられますように、お祈りください。

〈世界・日本〉

世界は、戦争・紛争・難民など悲惨な状況が続いていますが、私たちもそうしたことに目を逸らさず、違いを理解し合って、お互いに助け合う社会を実現したいと願います。韓半島・朝鮮半島には、新しい動きがあります。和解と平和・統一の実現のために、し



開会演説をされる磯崎久主教

つかりと見詰め、お祈りしていきましよう。  
今年も大阪北部地震、西日本豪雨、台風災害をはじめ、世界各地の被災地は厳しい現実にとさらされました。原発事故による放射能汚染被害にも、祈りと支援を続けていきたいと願いますが、来年5月28日(火)〜31日(金)に仙台で開催される日本聖公会原発問題委員会主催「原発のない世界を求める国際協議会」を注視したいと思えます。

〔日本聖公会〕

12月初旬に、新しく翻訳された『聖書聖書協会共同訳』が出版されます。10月の主教会で、この新しい聖書を礼拝(公禱)や聖書研究などで試みに用いることを認めました。試用については各々の教会でお決めくださればと思います。なお、正式採用には2020年の総会決議が必要で、その上で聖餐式聖書日課や日課表が整えられていくこととなります。

日本聖公会の信徒数は、従来2万人と言われてきましたが、現在は1万5千人となっています。主教会でもこのことを深刻に、危機感をもって受け止めています。日本聖公会には11の教区があり、それぞれ歴史や伝統を持っていますが、ここ数年、教役者の不足、信徒の高齢化、信徒数の減少、財政の逼迫、青年の不在など、共通の課題となっています。10年後、15年後、教区・教会はどうなっているのでしょうか。このまま行くと聖職数が一桁となり、主教選挙ができるだろうか案じられます。主教会では仮称「伝道教

区」案や、教区の再編に向けて舵を取るべきとの話し合いをしております。「生き残り」という消極的な側面も考えながら、積極的な意味での宣教・伝道体制の立て直しの道を模索しながら、課題を検討していく必要があるとも認識しています。

そうした状況の中で、大阪教区と京都教区の合併を視野に入れた協働・合同は他教区から大変注目されています。さらに大阪教区の皆様には、深い関心をもってお祈りくださいますように。

〔大阪教区と教会〕

現在、教区の教役者数は、主教1人、司祭14人(このうち宣教協働者2人、出向1人)、執事1人、聖職候補生1人、嘱託司祭8人です。桃山学院大学には京都教区から宮嶋眞司祭に出向して頂き、岩城司祭、竹林司祭、山野上司祭の病氣療養中には、神戸教区の中村豊主教にもご奉仕頂きました。感謝です。  
昨年申しましたが、将来を見据えて、教役者のチーム作りや多様性、教会間の協働・

合併などを考えないといけないう状況が続いています。来年度4月以降、月1回はどの教会も「み言葉の礼拝」を実施して頂くこととなります。各教会でも、新しいあり方を求めて、話し合ってくださいたいと願っております。私の能力と性格もあるのですが、ゆっくりとした歩みしかできていないことを申し訳なく感じております。

台湾聖公会との協働関係につきましては、2019年が今期(1期3年)協働期間の最終年となります。来年度は「青年協働宣教キャンプ」がマレーシアで計画されておりますが、大阪教区の青年の発掘が課題です。

大阪聖アンデレ教会は、9月23日に礼拝堂聖別解除式を行い、思い出深い礼拝堂に別れを告げました。2年後に、桃山学院大学経営学部ビジネスデザイン学科、桃山学院中高食堂などの入った新校舎が完成し、その1階に入ります。泉ヶ丘にあるプール学院大学の教育学部は、桃山学院に継承・統合し、本年4月より桃山学院教育大学として順調な

すべり出しを見せています。プール学院短期大学は、泉ヶ丘に3年間共存し教育活動を展開しますが、まことに残念ながら、短大は2020年に学生募集を停止し、中高を中心とした歩みを始めます。

本年も、不十分ながら堅信式や巡回などで各教会を訪れることができましたが、皆様祈りをもって宣教・伝道活動や教会運営を担ってくださいていることに深く敬意を表します。大阪教区の課題は、何よりも「人」であります。

私は聖職に対して、サバティカル(sabbatical year: 7年ごとに休息を与えるユダヤの安息年に由来し、欧米では7年に1度、有給休暇が与えられる)が必要ではないかと感じています。単なる休息も必要なのですが、学び・研究を深め、黙想し、自分や自分の課題を見つめ、良き働きのための真の安息の時を、教区として義務付けるべきではないかと考えています。

皆様からは、教区の合併よりもまず「教会の合併」ではないかというご意見が寄せられます。(次頁4段目につづく)

# 第121(定期)教区会報告と議事の記録

書記 司祭 ヨシユア 原田 光雄

去る11月23日(金・休)、主教座聖堂(川口基督教会)で、当教区の第121(定期)教区会が開催された。聖餐式後、開会のための諸手続きを経、議会の本体部分は教区主教による開会演説(本紙2〜4頁参照)で始まった。

去る11月23日(金・休)、主教座聖堂(川口基督教会)で、当教区の第121(定期)教区会が開催された。聖餐式後、開会のための諸手続きを経、議会の本体部分は教区主教による開会演説(本紙2〜4頁参照)で始まった。

は総額3700万円、今年度と変わらない。議案審議に続いて常置委員選挙が行われ、教役者から内田望司祭、義平雅夫司祭、千松清美司祭(次点)、松平功司祭、信徒から辻節子さん(石橋聖トマス)、豊川雅章さん(大阪聖愛)、小池義郎さん(芦屋聖マルコ)が選ばれた。信徒の次点は、太田幸彦さん(聖ルシヤ)。また、会計検査委員には春名英夫さん(恵我之荘聖マタイ)、山本多津子さん(芦屋聖マルコ)を指名。

各委員会等の報告として、最初は常置委員会。教区の人事や活動、財務、対外関係等々、守備範囲は相当に広く、報告も盛り沢山。今回、特に項目を掲げて、「教区墓地」設置の具体化が検討されている旨、報告された。今回は議案提出に至らなかったものの、来春、毎年3月に開かれている、前年度決算のための「臨時教区会」への議案提出を示唆する報告がなされた。その後、「大阪・京都特別協働教区運営委員会」報告が続いた。

その後、聖職試験委員会等の諸委員会報告、青年担当委員等の管区関連委員報告、連合男子会等の諸団体報告、同和問題に取り組む大阪宗教者連絡会議(大宗連)等の加盟団体報告、さらに、釜ヶ崎担当等の諸学校・諸施設チャップレン報告が順次、行われた。議案はただ一つ。「2019年度日本聖公会大阪教区一般会計予算(案)承認の件」が原案どおり承認され、総額4100万円(対今年度比150万円増)の来年度予算が成立した。増額分150万円は、「特別積立金取崩し」により賄われる。各教会の教区費分担金をめざすことを合意している。

なお、今教区会に、宣教協働者として去る7月に来阪した柳時<sup>ユシキヨシ</sup>京<sup>キョウ</sup>司祭(大韓聖公会ソウル教区)が、教役者議員として初めて大阪教区の教区会に出席された(あらためて、歓迎!)。午後2時10分、今教区会は会期を3時間近く残してすべての議事を終え、記録的に早い時間帯に閉会した。近年の傾向同様、結果的にスムーズな議事運営であったが、議論の交わされる場面があまりなかったことを危ぶむ声も聞かれた。

次に「各局報告」。大阪教区と京都教区は、教区の合併をめぐすことを合意している。

次に「各局報告」。大阪教区と京都教区は、教区の合併をめぐすことを合意している。

午後2時10分、今教区会は会期を3時間近く残してすべての議事を終え、記録的に早い時間帯に閉会した。近年の傾向同様、結果的にスムーズな議事運営であったが、議論の交わされる場面があまりなかったことを危ぶむ声も聞かれた。

(前頁よりつづく)

レポートには、「教役者も信徒も、自分の教会が置かれている地域の特色や課題などについての調査・研究ができていないか、不十分ではないか。協働という中では気づかないでいる宣教のヒントなどは、かえって外部の人の方が、新鮮な目で鋭く見抜くのではないか」とあり、傾聴に値するご指摘と感じました。

2019年教区の年間聖句は「主は人の一歩一歩を定め御旨にかなう道を備えてくださる」(詩編37:23)としました。最初に申しましたように、私たちは、神様のみ心を祈り、求めて歩む旅人です。必ずや主が私たちの一歩一歩を定め、み旨に合う道を備えて下さると信じ、2023年教区成立100年に向けて、「新しい宣教・伝道・牧会の体制」を求めて歩み出そうではありませんか。

先日、竹林司祭から提出された大阪・京都1日人事交流傾向同様、結果的にスムーズな議事運営であったが、議論の交わされる場面があまりなかったことを危ぶむ声も聞かれた。

(はらた みつお・聖ルシヤ 教会牧師、聖ルカ教会・富田林聖アグネス教会管理牧師)

創立記念礼拝

恵我之荘聖マタイ教会  
創立55周年記念礼拝

マルタ 井上 美津



9月16日(日) 恵我之荘聖マタイ教会創立55周年記念礼拝を、他教会へのお知らせは行わず、現信徒たちで静かに守りました。  
磯晴久主教と、第3主日に礼拝ご奉仕をして下さる宮嶋  
眞司祭のお二人のお説教を聴くことが出来、恵み豊かな礼拝となりました。  
祝会では、29年前に教会・牧師館を建て直された当時、牧師・司祭であった磯主教からの苦労話、信徒たちからは、青年期に英語を教えてもらうために教会に出入りして信の道に進んだ話、日曜学校の生徒が大勢在籍していたこと、建築時には信徒一同頑張ったこと等出席者お一人お一人から伺う時を持つことが出来ました。

初代牧師山本早太司祭時代から今に至るまで

創立記念礼拝

聖ルカ教会  
創立80周年記念・感謝礼拝

ダニエル 大久保 正彦



の写真や記念誌を、月2回礼拝奉仕をして下さる山本眞司祭が、A4サイズ拡大版で提供して下さい、礼拝堂後方壁に展示しました。「あの赤ちゃんはだれ?」「あの方はどうなた?」「〇〇先生お若いね」など、賑やかに楽しく懐かしく、いつまでも思い出話に花が咲いていました。  
(いのうえ みつ・恵我之荘 聖マタイ教会信徒)

聖ルカ教会は本年で80周年を迎えました。福音記者聖ルカ日に最も近い主日である10月14日(日)に、大阪南部教会からのお客様等を含めて20人が集い、アンデレ磯晴久主教の司式・説教・テモテ宮嶋眞司祭の補式により記念の感謝礼拝を行いました。  
礼拝後は会場を移動して祝会を行い、宮嶋司祭の見事なヴァイオリン演奏や、聖ルカ教会の歴史を振り返る映像をお楽しみいただき、和やかに歓談のひとときを過ごしました。

月に泉北郡東百舌鳥村土師(中区土塔町の現在地)に移転してきた、ジャパン・レスキュー・ミッシヨン(J・R・M)によって建てられた、女性のための保護事業「慈愛館」内の『大阪慈愛館内礼拝堂』が起源とされています。  
1938(昭和13)年3月に名称を「日本聖公会聖ルカ教会」とし、前年の1937(昭和12)年12月に大阪教区監督の名出保太郎師父より聖職授けを受けていたJ・R・Mの創設者であるジョージ・デンプシーが初代牧師に任命されました。  
その後の第二次世界大戦中には法人の土地を軍部に接収され、婦人会の錬成道場として使用された経緯もあり、教会も物置同然の扱いを受けました。しかし戦後、米国防軍牧師であったヨセフ・ケラーマン氏の多大なるご尽力により全ての土地・建物が法人に返還され、教会も復活し東光学園の歩みに寄り添い共に歴史を重ねて参りました。  
(おおくぼ まさひこ・聖ルカ教会信徒、社会福祉法人 東光学園施設長)

創立記念礼拝

東豊中聖ミカエル教会  
創立50周年記念礼拝（感謝と賛美）

司祭 ジョイ 千松 清美



10月21日（日）聖霊降臨後第22主日、東豊中聖ミカエル教会は創立50周年記念礼拝を持ちました。磯晴久主教の司式のもと、齋藤壹司祭を説教者に迎え、豊中市にある3つの教会の教会間協働の一環として、石橋聖トマス教会と庄内キリスト教会合同による聖餐式でした。教役者、豊中3教会信徒、保育園関係者ほか総勢104人の出席者がありました。記念礼拝後の祝会では多くの方から祝辞をいただき、出席者は思い出話に花が咲き、懐かしい再会をする方もおられました。とくに、豊中3教会の協働で行われたことは、小さくなりつつあるお互いの群れが、協力し合い、温かく和やかな50周年の記念会を創り出すことができ、神様のご臨在を強く感じるものでした。これからも豊中3教会は互いに支え合い、神様への感謝と賛美の集いが豊かになることを願っています。

当教会創立の略歴は、1962年大阪聖パウロ教会により千里地区への伝道所または教会建設が検討され、1964年に島熊山の土地を購入し、

1966年10月、小池俊男主教により教会堂建築起工式が行われ、1968年3月、東豊中聖パウロ教会（伝道所）として礼拝活動を開始しました。1974年5月、東豊中聖ミカエル教会に改称、同時

に教籍の移動を実施。教会認可は1976年9月聖ミカエル・諸天使日のことでした。創立から3年後の1971年4月、豊中市委託「緑丘簡易保育所」を開設し、1975年2月聖ミカエル保育園と呼

大阪教区婦人会・秋の修養会

弱さを担ってくださる神さま

フェベ 橋本 祥子

10月18日（木）午後1時から、大阪聖パウロ教会にて大阪教区婦人会・秋の修養会が、「弱さを担ってくださる神さま」をテーマに開催されました。講師の橋本るつ子さんは、いろいろ牧師で知られる榎本保郎牧師の長女さんです。現在は近江八幡アシラムセン

ターのスタッフをされています。橋本るつ子さんは気どりなく、スーッとその場を盛り上げてくださる元気な方です。体験されたお話をわかりやすく、諭すように続けられました。



講師の橋本るつ子さん

榎本牧師はいつも「朝の15分があなたを変えられる、聖書を読んで祈りなさい」と教えられたそうです。ご主人・橋本裕氏は32歳の若さで逝去され、その後は音楽教師として定年まで勤務されました。このお話のあたりは辛い時期だったようです。「何も

称を変え、保育園と教会は互いに支え合いながら、この50年の歩みを進めてきました。（せんまつ きよみ・石橋聖トマス教会牧師、東豊中聖ミカエル教会・庄内キリスト教会管理牧師）

わからない時は主が動いてくださる」との思いで過ごされたようです。妹さんの故榎本てる子さんは、弱者や辛い現実に生きている人々に寄り添う活動をして、バザールカフェの運営に尽力されました。「色々なことがありました、友人からは慰めはなく、ただ『次はあなたが神さまに用いられる番』と言われ、今の私があるのです」とお話が終わりました。その後、挿入歌の「神のなさることは」「私の弱いときこそ」の2曲を会場で合唱しました。和やかな雰囲気の中で磯晴久主教の祝福をいただき、修養会は終わりました。会場の設置等、色々とお世話くださいました教会、婦人会の方々、ありがとうございました。（はしもと しょうこ・大阪城南キリスト教会信徒）

超教派のつどい

第15回 学びと祈りのつどい

子ども、若者、大人が、常に喜びをもって集える教会とは

ヤコブ 小出 裕司

10月27日(土)午後2時より、超教派クリスチャン連盟主催、大阪キリスト教連合会後援の「学びと祈りのつどい」が、日本聖公会大阪聖パウロ教会で開催されました。基調講演者は、カトリック大阪大司教区のヨセフ・アベイヤ補佐司祭。カトリック岸和田教会信徒の竹口美希子姉が「教会生活にどのような魅力を感じ、信仰を深めるか」と題して証しされ、日本キリスト教団都島教会の井上隆昌牧師が祈りの導きを担当されました。午後4時半まで、示唆に富んだ良い会をもつことができました。基調講演の中で、アベイヤ補佐司祭は、教会の高齢化について、次のように話されました。

教会で、「高齢化」



会場は大阪聖パウロ教会

という言葉をよく聞きます。高齢化は、教会だけでなく、日本の社会の特徴です。また日本だけでなく、先進国の状況でもあります。その上で、自分たちの教会を見つめる時「わたしたちの教会、将来はあるのか」という悲観的

な思いが募ります。そうして、どうなっていくのか考える時、二つの思いが生まれます。「1」社会の現象だからと、あきらめる。

「2」喜びをもって集える教会をつくるため努力する。世界の中には、若者であふれている国もあります。私は、24年間、クラレチアン宣教会の本部で働いていましたので、世界の各地を訪ねました。若者だけで1000人が与かるミサを捧げたこともありました。アフリカです。若者の熱気が伝わってきます。3年に一度の世界青年大会は、

ヨハネ・パウロ2世教皇が起こされました。開催の都度、世界から100万〜200万人の青年が集まるだけでなく、準備・体験・アフターケアを通して信仰を育てる努力をしています。すべて青年たちが中心になっています。青少年を温かく見守りましょう。(こいで ひろし・大阪聖アンデレ教会信徒)



財政局長就任挨拶

ヨハネ 辻 潤

先月開催された第121(定期)教区会後に、磯主教から財政局長を仰せつかりました芦屋聖マルコ教会の辻です。昨までは管財委員を、そして今年の1月から財務委員を務めていたとはいえ、教区や教区内の教会のことなど何かにつけて不勉強で不案内ですが、財務委員の皆さんを始め教区の諸委員会、総務局、宣教局、教区事務所、また各教会の会計担当の皆さんのご協力とご

理解を得ながら務めていきたいと存じます。幸いなことに前財政局長の太田幸彦氏が教区主事として教区事務所に勤務されていますので心強く思っています。

3局体制が開始してまもなく1年になります。財政局は、教区の諸活動や諸問題への取り組みに財政面から支援と協力をしつつ、健全で適確な会計・財務を確保する役割を果たしていかねばなりません。

教区の統計資料に示されているように、信徒数の減少・高齢化などにより各教会の財政の困窮度合いが強まっているのは、私たちの身近で切実な問題です。健全な財政なくしては教区も教会も成り立たなくなるでしょう。しかし、後ろ向きになることなく、将来を見据えた展望を関係者で共有し、短・中・長期的にどのようにしていくか十分検討を加えていく必要があると思います。次の時代を担う若い人たちに信仰ある生活を伝え、教区と各教会が活気ある活動ができることを祈っています。(つじ じゅん・芦屋聖マルコ教会信徒)

海岸沿いの国道を走るのが青年の頃の趣味でしたが、カーステでよく聴いたミステルのある曲のワンフレーズに「こんなにガンバってるのに」という箇所があります。

いつ頃だったでしょう。か。たぶんケアマネの受験勉強をしていた時期だと思えますが、その頃から「～のに」という言葉を非常に気に留めるようになりまし。国語辞典で調べてみると「内容的に対立する事柄を、意外・不服の気持ちを含めてつなげる意を表す」と書かれています。自分のしていることが実を結ばない、他者から理解されない、これほど理想とのギャップに悩まされることはありません。聖書ではパウロ書簡の中にこの「～のに」がよく出て来ます。わたしはこういう箇所でもパウロの心の叫び

を肌で感じるような思いにさせられます。

以前、老人ホームの訪問で、

聖職リレーエッセー ⑥



「～のに」という言葉を思う

司祭 クリストファー 奥村 貴充

ある入所者の方と話をする機会が与えられました。概ね小1時間の対話の中で、その方

の口から「～のに」という言葉が何回も出ました。今までの人生の過程でさまざまな悩み、憂い、悲しみ、苦しみなどがこの「～のに」という、たった平仮名2文字に凝縮されているような思いにさせられる時間でした。

わたしたちは今までの苦しみなどを背負いながら日々暮らしています。クリスマスは過去の追憶ではなく、これからの救いに希望を向けます。「～のに」という言葉を口に出すこともありすが、この自分のために救い主がお生まれになったことを確信し、一歩ずつ前へ進みたいと思っています。

※次回はペテロ金山将司執事をお願いします。

(おくむら たかみつ・聖贖主教会牧師、聖ガブリエル教会管理牧師)

「釜ヶ崎と貧困」フィールドワークに参加して

セシリア 浅海 由里恵

11月17日(土)に「釜ヶ崎と貧困」というテーマで、講演会とフィールドワークを主催・社会宣教委員会、後援・在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会として開催しました。

降りてすぐにある日本最大の「寄せ場」です。「ドヤ」と呼ばれる簡易宿泊所が立ち並んでいます。最近では、外国人観光客が宿泊費の安さに惹かれて泊まっている姿もよく見かけます。

野宿者ネットワーク代表の生田武志さんを講師にお迎えしました。生田さんは、長年釜ヶ崎の日雇い労働者・野宿者支援活動に関わっておられます。

講演会では、労働者が貧困や失業を機に野宿になっていく段階を「階段状」であると説明されました。野宿状態からの脱却には、さまざまな段階が必要ですが、そそり立つ高い壁が存在します。それは釜ヶ崎の労働者だけの「問題」でしょうか。親が仕事をできなくなると、子どもは低賃金でも働かざるをえなくなる状態があります。また、綱渡り状態で働く人たちもいます。

「こうやって歩いている」と『見学で来ている』ことがまるわかりです。(中略)ただ実際に歩かないとわからないこともあります。謙虚な気



(次頁4段目につづく)

# 大阪教区手話の会「つたえて」 ある日の例会より

ハンナ 井上 恵美子

私たちは教会手話通訳の奉仕をするグループです。教区内の大きな礼拝で会衆に向かつて立ち、とても目立ってしまうのが私たちの奉仕の姿です。聞こえない人たちの第一言語である手話で、聞こえる私たちが礼拝のすべてを表すのは本当に難しく、伝わっていないのだろうかといつも悩みながら奉仕しています。



前列：指文字で「つたえて」。  
後列：「待っています」。

9月例会の様子を振り返ってみます。教区礼拝に向けての学びをしました。先ず聖書箇所から、創世記第9章「5節、血が流された。これって〈死〉なの?」「6節は?ん?どんな意味?どんな手話で表す?」ヨハネ黙示録第13章では「5節、42カ月って3年半でしょ。でも42カ月と書いてあるよ。どっちがいいの?」詩編では「難しい!文章通りに表そうか!でも手話が遅れる」。手話は文章の意味をしつかりとらえて表すので、書いてある文章のまま表すのは最終手段です。聞こえない人には多分伝わらないからです。2時間以上も一語一語の壁にぶつかり、話し合い、学びは進んでいきます。私が担当する福音書までは時間が足らず「家に帰って調べてみます(涙)」。聖書と祈祷書について、チャプレンの古澤秀利司祭から言葉の意味と、書

かれている大切なことを話していたので、大阪教区の私たちはチャプレンと学びができ本当に恵まれています。残念なことに今年の教区礼拝は悪天候により中止になってしまい、学びの成果を奉仕に代えることが出来ませんでした。

例会の終わりは毎回、手話で表す主の祈りで閉じます。(いのうえ えみこ・高槻聖マリア教会信徒)

## 世界の窓

○米国聖公会、カリフォルニアの大規模山火事で緊急支援

今年10月下旬にカリフォルニア北部で発生した、「キャンプ・ファイア」と呼ばれる山火事による行方不明者は千人以上にのぼることがカリフォルニア州当局から発表された。一方、西海岸の米国聖公会では、「聖公会全体の愛と思いやりが注がれることを通して」力が与えられ回復するのだと語っている。11月18日、「キャンプ・ファイア」は15

(前頁よりつづく)  
持ちで行きたいと思えます」と説明されたあと、実際に案内していただきました。そのなかで、学校のあった場所では「この学校の先生たちの定着率はどのくらいなのか」と質問があり、「熱意をもって教員をされていた人もいれば、『ここにいれば将来の出世に有利だから』という思惑で来ている人もいた」などと熱心

な質疑応答が繰り返されました。今後、釜ヶ崎では正月を無事に迎えるための「越冬夜回り」が行われます。毎日「夜回り」や「炊き出し」などが各所で行われています。ぜひ釜ヶ崎での活動にご参加ください。  
(あさうみ ゆりえ・聖ガブリエル教会信徒・社会宣教委員)

万エーカー(1エーカーは1,224坪)に広がったところで、65パーセントの火が封じ込められた。その他の地域では、ロサンゼルス近郊で3人の死者を出した「ウールジの火」と呼ばれる山火事では、9万6千エーカーに広がった時にはその91パーセントの火が封じ込められていた。カリフォルニアの歴史の中で最も致命的であったのは、パラダイスの聖ニコラス教会にあるアン・サリバン司祭の家であった。教会自体は比較的火の手の届かない場所と言われており、サリバン司祭は建物からパソコンや聖具を回収する

計画であった。彼女は、教区の管理者とチコにある聖ヨハネ教会にオフィスを構え、災害から復旧する努力を続けると語っていた。また、彼女は火災犠牲者たちのために私邸を開放している聖ヨハネ教会の信徒と、移住した教会員たちを結びつけようとしてもいた。しかし、その努力の甲斐もなく、パラダイスに住むほとんどの人が家を失い、インフラもすべて焼失してしまっただ。現在では、チコから14マイル(約23キロメートル)離れた聖ヨハネ教会が復興活動の拠点となり、被災者のシェ

(次頁につづく)

ルターとしての働きも行って  
いる。そして、米国聖公会の  
救済チームはロサンゼルスと  
北カリフォルニア教区と連携  
し、地域の人々と協力して緊  
急支援を提供することを言明  
している。(なお、「キャンプ・  
ファイア」は11月25日に鎮火  
したが、被災者への支援は継  
続中である)。  
〈Anglican Communion  
News Service, November  
19th, 2018〉

○バチカンのアングリカンセ  
ンターへランベス・クロス  
を  
贈与

ローマにあるアングリカン  
センターで活動する主席たち  
は、そのエキユメニズム(世  
界のキリスト教会間の統一を  
促進すること)の働きを称賛  
され、カンタベリー大主教か  
らランベス・クロスを授与さ  
れた。ステフェン・プラッテ  
ン主教は、30年間におよびセ  
ンターでの奉仕と広範なエキ  
ユメニカル運動の功績を称え  
られての受賞だった。アング  
リカンセンターとは、ローマ  
教皇庁にある大主教の個人的  
代理者の家でもある。プラッ

テン主教は15年の間、主席た  
ちのトップとして働き、20  
18年末にその任務を終える。  
彼の後継には、アイルランド  
教会のミカエル・ブrowズ主  
教が就くことが決定されてい  
る。

ランベスプレスは「ステフ  
エン・プラッテン主教は長き  
にわたり、英国教会における  
非常に重要な宣教活動と共に、  
他教派との深いレベルでの関  
係性の構築に寄与した」との  
声明を出している。また、カ  
ンタベリー大主教は「この賞  
を受けるのは間違いなくステ  
フェン・プラッテンであり、

彼にはその価値がある」と締  
めくくっている。プラッテン  
主教は「このような賞を頂け  
るのは大変光栄であり、嬉々  
たる出来事である。人生を通  
して各教派同士が親密な関係  
を構築できるように尽力して  
きた。この賞を頂ける名誉を  
喜び感謝でいっぱいである。  
望みとしては、アングリカン  
センターが将来的に発展し、  
その存在の意義を高められる  
ということにある」と、受賞  
の喜びを、驚きをもって語っ  
ている。ランベス・クロスと

は、英国教会の支援するエ  
キユメニカルな活動に対し  
て顕著な貢献者へ贈与され  
るメダルである。

〈Anglican Communion  
News Service, Novem-  
ber 21st, 2018〉  
邦訳：司祭 ヤコブ 松平  
功

(まつだいら いさお、守  
口聖オーガスティン教会牧  
師、守口ぶどうのいえ施設  
長、桃山学院教育大学およ  
びプール学院短期大学チャ  
プレン)

# 教 区 の 動 き

## 常置委員会報告

- 10月16日(第14回定例)
- 11月8日(第15回定例)
- 11月23日(第1回臨時)

## I. 主教報告 及び諸報告

\*主教会において、磯主教は

## 楽しい『日本聖公会祈祷書』入門

改定増補 マラナ・タ



1998年に発行された  
フランシス森紀且主教著  
『マラナ・タ』の  
改定増補版が発行されました。  
購入希望の方は、  
京都教区事務所を  
通してお買い求めください。

定価：800円(税込)  
2018年11月23日発行

日本聖公会京都教区事務所  
FAX 075-441-4238

東アジア教会協議会(CCE  
A)の担当主教に就任。

\*大阪・京都教区合同教役者  
会において、協働の働きとし  
て、教区報を一本化する方向  
で検討することになった。

\*聖ルカ教会では創立80周年  
の記念聖餐式・祝会が10月14  
日(日)に、また東豊中聖ミ  
カエル教会では創立50周年の  
記念聖餐式・祝会が豊中3教

会合同で10月21日(日)にそ  
れぞれ開催された。聖ルシヤ  
教会では12月2日(日)に創  
立45周年記念聖餐式を行う予  
定。

\*大阪聖三一教会は、11月4  
日(日)に臨時堅信受領者総  
会を開催。教会建て替えにつ  
いて協議し、具体的に計画を  
進めることが決議された。

\*大阪のカトリック大司教区  
主導により、カトリック教会・  
日本聖公会・日本ルーテル教  
会・日本基督教団によるエキ  
ユメニカル運動として、来年

1月のキリスト教一致週間に合同礼拝が計画されている。

\*博愛社では幼稚園と保育園が「幼保連携認定こども園」として歩むことになった。

\*主教座聖堂(川口基督教会)の修繕工事了。改修により照明が明るくなった。

### II. 協議事項

\*「教区墓地」に関して、「墓地設置委員会」のメンバーに、聖職・信徒合計7人を人選(義平雅夫司祭、奥村貴充司祭、辻節子姉、國分腆旺兄、太田幸彦兄、小池順司兄、井上恵美子姉)し、引き受けていただいた。

\*ヒューム ユーワン聖職候補生の執事志願を受理、来年2月の管区聖職試験日に合わせ、教区で試験を実施することを確認。

\*管区聖職試験に合格された金山将司執事の「説教」試験を、年末または年始に実施することを確認。

\*日本聖公会生野センターが財政悪化の状況にあることに鑑み、同センターより「大斎克己献金」の対象案件として、管区に申請を行うことに同意。

\*2019年度の教役者人事案が磯主教より示され、概要を確認。

\*太田幸彦兄(聖ルシヤ、教区事務所職員)は、来年1月より主事に就任することを確認。

\*第121(定期)教区会後、新年度常置委員会の委員長に内田望司祭、書記に小池義郎兄(芦屋聖マルコ)を互選。

\*磯主教より総務局長に内田望司祭、宣教局長にウイロンウオーレン司祭、財政局長に辻潤兄(芦屋聖マルコ)を任命したい旨諮問を受けた承。

### 教会・施設の動き

大阪聖パウロ教会

○11月17日(土) J.O.C.S 関西事務局では開所50周年記念礼拝を所縁の日本キリスト教団浪花教会(初期27年間の活動拠点)で行った。初代所長の村上公彦牧師(日本キリスト教団寝屋川教会牧師)が記念メッセージを語られた。海外ワーカー(医師・看護師等)やボランティア、関係団体等250人の方が出席した。

○11月26日(月) 大阪キリスト教連合会役員会、講演会が当教会で開催された。ロッコ・ヴィヴィアーノ神父(カトリック大阪司教区司祭)を招き、「カトリック教会の諸宗教対話」というテーマで第2バチカン公会議における諸宗教対話思想とその発展を学んだ。

教派を超えて信徒・教役者が参加した。参加者は50人。

○12月10日(月) J.O.C.S 海外派遣ワーカー(アフリカ・タンザニア)として2019年1月より赴任される雨宮春子看護師・助産師(日本聖公会北海道教区札幌聖マールガレット教会信徒)を囲んで励ます会を開催した。歴代の海外派遣ワーカーやJ.O.C.S 後援者が22人集い懇談した。現地での活躍を祈りながら応援したい。ちなみに彼女は牧師家庭に育ち、大阪の聖バルナバ助産師学院で学んだあと同病院に勤務された。また釜石での東日本大震災救援活動にも従事した。高い志を持つ医療者の一人である。

参加した。参加者は50人。

## 2019年 日韓青年セミナー

日時：2019年2月10日(日) 19時集合  
～14日(木) 朝食後解散  
※日本側参加者事前準備会  
2月10日(日) 午前9時～

宿泊先：韓国 YMCA (東京・水道橋)

内容：

テーマ「3・1独立運動とキリスト教会」と題し、  
3・1独立運動についての講師による講演会、  
川崎市・NCC 事務所のフィールドワークなど

参加希望者は古澤司祭まで

## 大阪教区婦人会

### 被献日礼拝 聖餐式

2019年2月2日(土)  
午前10時30分

### 堺聖テモテ教会

司式 アンデレ 磯 晴久 主教  
説教 マルチン ハン サンドン 韓 相敦 司祭  
(高槻聖マリヤ教会牧師)

教区関係教役者  
逝去者記念聖餐式

◇ 1月9日 (水) 10:30 ~

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 執事 ペテロ 金山 将司

- 1日 宣教師 ヘンリー・ラニング (1917 米)
- 司 祭 デイビッド・マーシャル・ラング (1946 英)
- 司 祭 ウイリアム・ロイストン・グレイ (1950 英)
- 3日 主 教 ウイリアム・オードリー (1910 英)
- 司 祭 河合 堯三 (1939)
- 8日 司 祭 テモテ 名出 望 (2015)
- 12日 司 祭 ヨセフ 側垣 基雄 (1965)
- 司 祭 ギデオン 小川 博司 (2002)
- 13日 伝道師 三木 八十五郎 (1918)
- 15日 司 祭 パーシー・A・スミス (1960 米)
- 司 祭 寺本 房吉 (1960)
- 19日 司 祭 ペテロ 宇野 秀太郎 (1944)
- 主 教 アーサー・リー (1958 英)
- 伝道師 今泉 穎子 (1970)
- 20日 司 祭 ヒカル 柳原 光 (1994)
- 主 教 オーガスチン 高野 晃一 (2015)
- 21日 司 祭 久永 光雄 (1937)
- 22日 主 教 ペテロ 松本 寛一 (1980)
- 25日 執 事 ト部 徳太郎 (1933)
- 26日 司 祭 パウロ 井上 進次 (2016)
- 27日 司 祭 サムエル 久保 道則 (2011)
- 30日 執 事 バルナバ 寺沢 久吉 (1945)
- 不詳 司 祭 山下 有任 (1903)

◇ 2月13日 (水) 10:30 ~

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 司祭 ヨシュア 原田 光雄

- 1日 宣教師 エルザ・M・キーン (1949 英)
- 3日 司 祭 トマス 佐藤 時雄 (1989)
- 5日 司 祭 バークレー・フォーウェル・バクストン (1946 英)
- 8日 宣教師 フランシス・エドワード・ハモンド (1932 英)
- 10日 司 祭 祖山 達三 (1941)
- 司 祭 皆川 晃雄 (1952)
- 宣教師 フローレンス・マリアン・ファジル (1956 英)
- 13日 伝道師 マリア 奥田 ヤス子 (1949)
- 14日 司 祭 J・ハミルトン・クインビー (1882 米)
- 16日 司 祭 ステパノ 久保 登知雄 (1981)
- 17日 司 祭 ジョージ・ヘンリー・ポール 1929 英)
- 19日 伝道師 小橋 かつえ (1964)
- 20日 司 祭 ヨセフ 松岡 安立 (1972)

教役者逝去記念聖餐式は、原則毎月第2水曜日午前10時30分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

祝 受 洗



○ 守口聖オーガスティン教会  
フローレンス 西沢 亜希  
(10月28日)

○ 大阪聖ヨハネ教会  
ヨハネ 川上 勇  
(7月5日・80歳)

魂の平安を  
祈ります

○ 芦屋聖マルコ教会  
ヨハネ 井出 幸彦  
(8月7日・91歳)

○ 西宮聖ペテロ教会  
有馬 幸雄  
(10月22日)

○ 聖贖主教会  
パウロ 佐藤 正雄  
(9月23日・73歳)

○ 川口基督教会  
小沼 啓助  
(10月11日・95歳)

○ 大阪聖アンデレ教会  
エリザベツ 美濃部千代子  
(10月24日・103歳)

○ 16頁1段8行目  
逝去者  
川口基督教会 ダビデ  
鈴木璋三さんの逝去日  
(誤) 8月18日  
(正) 8月15日

祝 初 陪 餐



○ 庄内キリスト教会  
グレース 重政 恵  
(12月9日)

○ 5頁4段本文1行目  
長崎原爆記念礼拝の記事  
(誤) 8月10日 (金)  
(正) 8月9日 (木)

○ 編集後記  
主のご降誕をお祝いします。世界の平和と非暴力の実現のために心より祈ります。次号より新体制で編集に臨みます。長年広報委員を務めていただいた皆様に深く感謝いたします。  
(G)

訂正とお詫び  
教区報第463号に誤記がありました。お詫びして訂正いたします。